

全部盛りより、 自分盛り。

愛車
買うなら

ハウツー

新車オプション スタートアップ

装備を替えたいのに替えられない。今流行りの超大径タイヤでは交換費用も高い。勢いで全部盛りを選び、苦勞する人は少なくない。そこで提案したいのが、CGM流の愛車購入術。必要十分な1台を選べば、その先に最上のカーグッズライフが待っているのだ。

P68 ディスプレイ編

P70 オーディオ編

P72 レーダー編

P74 タイヤ&ホイール編

P76 後付け純正アップグレード編

まとめ：松永大真

新車は「完成品」ではなく、
自分仕様に仕立てる素材

新車選びでは、装備の充実した上級グレードに目が向きやすい。大画面ディスプレイや上質なオーディオ、ドライブレコーダー、専用ホイールなどが最初から揃っていれば安心感はあるが、そのすべてが自分に必要とは限らない。使わない機能まで含めて高価なグレードを選ぶより、必要十分なベース車を選び、納車後に使い方や好みに合った用品を加えていく。そんな「愛車ビスポーク」という買い方はどうだろう。

ビスポークとは、本来、服や靴を使う人に合わせて仕立てること。クルマもメーカーが用意した完成形をそのまま受け入れるのではなく、必要な機能やデザイン、予算、導入時期を自分で選び、一台ずつ仕立てていく。市販用品の魅力は、純正オプションより価格を抑えられることだけではない。画面サイズや音の方向性、ドラレコの撮影範囲、レーダー探知機の情報機能、タイヤやホイールのデザインまで、多彩な選択肢から自分に合ったものを選べる。技術の進化に合わせて交換しやすく、次の愛車へ移設できる装備もある。